随筆 第一一六回

改元とゴールデンウイーク

市長 明智忠直

上皇陛下が退位され、天皇陛下の即位、そして令和時代の幕開け。ちょうどゴールデンウイークの真っただ中で改元が行われました。改元に伴い十日間の大型連休になったわけですが、公式な行事で改元を寿ぐ機会が少なかったのは、私自身少し寂しいと感じたところでありました。お祝いの行事をつくるべきかと検討しましたが、連休を遮ることの良否などを考え、特別なイベントは行いませんでした。特に旭市では東日本大震災の際、上皇、上皇后両陛下に行幸啓をいただき、どれほど市民が希望と元気をいただいたことか計り知れません。そういった意味でも少し心残りを感じ、5月4日に八王子の武蔵陵墓地で行われた記帳で、感謝の思いを込めたところであります。

それにしてもこの十連休、国民はどのように受け止め、どのように過ごしたのでしょうか。仕事を持つ人の中には、少し長すぎる休みだったと感じた方もいたと思います。長い休みによって減収した業種もあり、休み明けの体調管理や気持ちの切り替えにも、少し時間が必要だったのではないかと思います。

4月、5月は各種団体にとって、一年の節目である総会シーズンでもありました。総会に出席した中で、区長会では多くの方に出席いただき、旭市観光物産協会では、旭市のポテンシャルを引き出す特産品や観光の議論が行われ、商工会では市内商工業者のさらなる活躍を感じることができました。どの総会も旭市の今後の発展に向け、期待の持てる内容でありました。

令和のスタートの年、新元号の意味に込められた、令しく、美しく、人々が寄り添い創る文化、国家の時代にふさわしい元年となるよう、各組織や団体の充実、そして旭市発展のスタートにもなってほしいと願うものであります。

市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時
土・日曜日…午前9時～午後5時
今月の休館日／20日(木)、毎週月曜日
問市図書館(☎62-2560)　http://www.library-asahi-chiba.jp/

今月のおすすめ

「帝国ホテル建築物語」

植松三十里 著
(PHP研究所)

「東洋の宝石」とたたえられた帝国ホテル・ライト館。米国人建築家ライトのこだわりと、経営陣との駆け引きは熱い闘いの連続だった。

「中野のお父さんは謎を解くか」

北村薫 著
(文藝春秋)

編集者の娘と本好きの父の名探偵コンビが、日常と本の中の謎解きに挑む。軽快で絶妙な会話を中心に、展開される8話の連作短編。

新着図書

- 天皇のお言葉 (辻田真佐憲)
- 経済のことよくわからないまま社会人になった人へ (池上彰)
- 「本当の友達がいなくてさびしい」と思ったとき読む本 (大嶋信頼)
- 子連れ防災BOOK (ママプラグ)
- ビッグ・クエスチョン (スティーヴン・ホーキング)
- 忘れない味 (平松洋子)
- 心底惚れた (樹木希林)
- わたし、定時で帰ります。ハイパー (朱野帰子)
- シーソーモンスター (伊坂幸太郎)
- ゆるキャラの恐怖 (奥泉光)
- 作家の人たち (倉知淳)
- 落花 (澤田瞳子)
- 肖像彫刻家 (篠田節子)
- 人類最年長 (島田雅彦)
- おまえの罪を自白しろ (真保裕一)
- 少年は死になさい…美しく (新堂冬樹)
- 傑作はまだ (瀬尾まいこ)
- ポルシェ太郎 (羽田圭介)
- 夜のアポロン (皆川博子)
- はればれ、お寿司 (嵐山光三郎)
- マリコを止めるな！ (林真理子)
- キラッキラの君になるために (小林さやか)

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／6月13日(木)、27日(木)
午後4時30分～5時
場所／市民会館